

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:シヤラグ, ガンマ線遮蔽壁)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.目-1,2	目次の記載内容について、適正化を行いました。	2022/5/10	
2	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.2,9	他の図書との整合のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉遮蔽壁 (新)ガンマ線遮蔽壁	2022/5/10	
3	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.6	他の図書とのフォーマットの整合のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表示する数値の丸め方は表2-2に示すとおりとする。 (新)表示する数値の丸め方は表2-2に示すとおりである。	2022/5/10	
4	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.9	他の図書とのフォーマットの整合のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)シヤラグの許容応力及び許容応力度は、VI-2-1-9「機能維持の基本方針」に基づき表4-3～表4-5に示すとおりとする。 (新)シヤラグの許容応力及び許容応力度は、VI-2-1-9「機能維持の基本方針」に基づき表4-3～表4-5に示す。	2022/5/10	
5	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.17	燃料交換時の鉛直地震荷重の設定方法が分かるように、記載を追加しました。	2022/5/10	
6	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.19,20	表4-10, 13について、「鉛直荷重」が地震荷重以外の荷重である旨を明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鉛直荷重 (新)死荷重及び活荷重	2022/5/10	
7	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.19,20	No.7の適正化に伴い、表4-10, 13のタイトル及び本文中の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ドライウエルに加わる鉛直荷重及び鉛直方向地震荷重 (新)ドライウエルに加わる鉛直方向荷重	2022/5/10	
8	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.22	応力評価点の矢視箇所について、適正化を行いました。	2022/5/10	
9	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.25,28	$A_{P1}$ の値は $l_7$ によって変化するため、記載を適正化しました。 (旧) $A_{P1}=3.00 \times 10^4 \text{ mm}^2$ (新) $A_{P1}=l_1 \cdot l_7$	2022/5/10	
10	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.25,29	$A_{P2}$ の値は $l_8$ によって変化するため、記載を適正化しました。 (旧) $A_{P2}=4.00 \times 10^4 \text{ mm}^2$ (新) $A_{P2}=l_5 \cdot l_8$	2022/5/10	
11	NS2-添2-009-06	VI-2-9-2-5 シヤラグの耐震性についての計算書	P.38	他の図書とのフォーマットの整合のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力評価点P15は既工認の各荷重による応力を比倍(圧力比, 荷重比等)し評価する。 (新)応力評価点P15は既工認の各荷重による応力に圧力比又は荷重比を乗じて評価する。	2022/5/10	